

学校だより(学校評価報告)

学校評価のご協力ありがとうございました

～ 学校・家庭・地域と共に子どもを育むために～

19年度後期の学校評価アンケートにご協力いただき有難うございました。

特に、保護者の皆様には前期同様全家庭の約94%という多くの皆様から回答を頂き、その一枚一枚全てに目を通させていていただきました。

また同時に、自由記述欄にお書きいただきました皆様方からのご意見には、学校の取組や教職員の姿勢、子たちの姿から高く評価していただいた内容と同時に改善点を指摘していただいた内容などがありました。そのお声の一つ一つにつきましては全教職員が目を通させていただき、真摯に受け止めて今後の本校教育活動の充実・発展に繋げていくように活用させていただきたいと考えておりますのでご了承をお願い致します。

19年度の学校評価(後期)の集計結果をお知らせします。

今回は、保護者・地域・教職員・児童を対象にいくつかの項目では、受け止めの比較ができるように設問を考え、また、前回19年度(前期)の結果とも比較しながらそこから見えてくるものを探っていくことによって課題を明らかにし、今後の学校の取組に生かしていきたいと考えております。

「4」あてはまる

「3」ややあてはまる

「2」あまりあてはまらない

「1」あてはまらない

「0」無回答

1. 学校生活

- ①「子どもは楽しい学校生活を送っていると思われませんか」(保護者)
「学校は楽しいですか」(児童)
「子どもたちが楽しく学校生活を送れるよう状況把握に努めている」(教職員)

保護者(499名)	児童(658名)	教職員(30名)
「4」75%	「4」62%	「4」90%
「3」23%	「3」29%	「3」10%
「2」2%	「2」6%	「2」0%
「1」0%	「1」3%	「1」0%
「0」0%	「0」0%	「0」0%

学校生活の面では、児童も保護者においては前回の結果とほぼ同じ傾向を示しておりますが、教員は「4」が21%増加しました。

これは、児童の状況把握のための意識の高まりと捉えております。

前回の結果と比較しても「おおむね学校生活を楽しんでいる」と言えそうです。しかし、保護者の2%、児童の9%は、「学校生活が楽しい」とは感じていない状況があり、さらに教職員が子どもの思いや表情などをきめ細かく観察し、気になる場合には積極的に声をかけながら、子どもが楽しみや期待感や充実感を持つような取組を実践していく必要があると受け止めます。

2. 学習

- ②子どもに基礎基本の学力がついていると思われませんか（保護者）
 勉強はわかりますか（児童）
 子どもに基礎基本の学力をつけきることを大切にして指導に当たっている（教職員）

保護者	児童	教職員
「4」45%	「4」52%	「4」52%
「3」47%	「3」39%	「3」48%
「2」6%	「2」7%	「2」0%
「1」1%	「1」2%	「1」0%
「0」1%	「0」0%	「0」0%

- ③子どもに分かりやすい授業を進めていると思われませんか（保護者）
 子どもに分かりやすい授業を進めることができた（教職員）

保護者	教職員
「4」53%	「4」17%
「3」41%	「3」80%
「2」3%	「2」3%
「1」0%	「1」0%
「0」3%	「0」0%

では児童の「3」の評価から「4」の評価に+7%の変化が見られます。しかし、児童の9%、保護者の7%が勉強したことが十分に理解できていないと回答しています。

また、の分かりやすい授業を進めるという点では、保護者・教職員とも「4」「3」が95%前後ですが、保護者の3%教職員の3%が、まだ不十分であると回答しています。

②③の結果から、教職員は児童に学力をつけきることを大切にして指導しているつもりが、結果としては、約1割近くの子どもの「わかった」という実感が持てていない状況を深く受け止めたいと思います。その上で、個別の指導も含め、全ての子どもが「わかった」「できた」という達成感もてるよう授業の工夫と学習結果の点検にさらに努力したいと考えます。

3. 人権教育

- ④学校は一人一人の人権を大切にした教育活動を行っていると思われませんか（保護者）
 先生は一人一人を大切にしてきていますか（児童）
 日々の実践で、子ども一人一人を大切にしよう努力している（教職員）

保護者	児童	教職員
「4」 49%	「4」 61%	「4」 73%
「3」 41%	「3」 28%	「3」 27%
「2」 5%	「2」 8%	「2」 0%
「1」 0%	「1」 3%	「1」 0%
「0」 5%	「0」 0%	「0」 0%

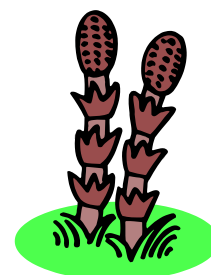
保護者・児童の約9割が「4」「3」と回答されていて、大切にされていると受け止めていただいている一方、約1割の児童が大切にされているという実感を持ちえていないことを重く受け止めたいと思います。

特に、教職員と約1割のギャップのあることから、児童一人一人の思いに立った日常の指導を大切に、きめ細かく児童の思いを捉えていく中で全ての児童が大切にされているという実感が持てるよう児童としっかり向き合った取組をさらに充実させていきたいと考えます。

4. 家庭生活

子どもは家庭で学校のことや友だちのことを話していますか（保護者）
お家の人と学校のことや友だちのことを話していますか（児童）

保護者	児童
「4」 50%	「4」 53%
「3」 37%	「3」 29%
「2」 11%	「2」 13%
「1」 2%	「1」 5%
「0」 0%	「0」 0%



5. 基本的生活習慣

家庭で、子どもに挨拶・早寝・早起き・朝ごはんの習慣を大事にされていますか（保護者）
自分からあいさつができていますか（児童）
子どもたちはあいさつをしていますか（地域）
子どもが挨拶できるように常に自分も心がけていますか（教職員）

保護者	児童	地域	教職員
「4」 59%	「4」 39%	「4」 61%	「4」 73%
「3」 37%	「3」 40%	「3」 28%	「3」 20%
「2」 4%	「2」 14%	「2」 11%	「2」 7%
「1」 0%	「1」 7%	「1」 0%	「1」 0%
「0」 0%	「0」 0%	「0」 0%	「0」 0%

前回と大きな変化は見られませんが、挨拶や早寝・早起き・朝ごはんなど基本的な生活習慣は、子どもたちの学習活動や意欲を支える源です。特に朝のスタートがその日の頑張りを左右する場合も往々にしてあるように感じています。

しかし、あいさつに対する意識が、教職員と子どもたちに低下傾向があり、今後における改善点であると受け止めております。

みんなで協力して、子どもたちには必ずつけたい力です。

6. 特性・個性の伸張

学校は子どもの持つ良さや可能性を引き出そうと努力している（保護者）
 自分でがんばっていることがありますか（児童）
 子どもの良さや可能性を引き出し、伸ばすように努めている（教職員）

保護者	児童	教職員
「4」 41%	「4」 69%	「4」 54%
「3」 45%	「3」 23%	「3」 43%
「2」 7%	「2」 5%	「2」 3%
「1」 1%	「1」 3%	「1」 0%
「0」 6%	「0」 0%	「0」 0%

前回と大きな変化は見られませんでした。が、引き続き子どもたち一人一人の良さを引き出し、高めていくためにしっかり向かい合ったきめ細かい観察や可能な限り様々な刺激や機会などの「場」作りに努力をしていきたいと考えております。

保護者の皆様や地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

7. 情報発信

学校は取組や様子を分かりやすく伝える工夫や努力をしている（保護者）
 学校は取組や様子を分かりやすく伝える工夫や努力をしている（地域）
 「学級通信」や「週予定表」などで、学校や子どもの様子を分かりやすく伝えるようにしている。（教職員）

保護者	地域	教職員
「4」 50%	「4」 63%	「4」 43%
「3」 41%	「3」 26%	「3」 42%
「2」 5%	「2」 0%	「2」 15%
「1」 0%	「1」 0%	「1」 0%
「0」 4%	「0」 11%	「0」 0%



こうした学校評価の結果も含め、学校の様子を校内だけに止めず、子どもたちの様子や学校の取組について保護者をはじめ地域の人たちにも知っていただくことで、幅広い視野から子どもの可能性・経験・社会性を高め、人と人とのつながりを大切にして子どもを育てていきたいと考えております。

その上で、学校・家庭・地域がそれぞれのもつ教育機能を高めていき連携して地域ぐるみで子どもたちを育てていく必要性からも、平成20年度の評価項目につきましては、新たな視点や違った角度も視野に見直しも図ってまいりたいと考えておりますので、皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。